

特別研修会  
2024

# 笹岡宏保 税理士

## 1年間で確認する 宅地評価の実務



全3講座 8日間

名古屋 開催

会場受講限定

※ オンラインLIVEはありません

宅地評価には実務上の取扱いに悩む事例が数多くあります。  
例えば、次に掲げる事例についてはどのように考えればよいのでしょうか。  
今回の講義では、この事例への対応力を身に着けることを目的として  
宅地評価の各種論点を確認します。

第1講座 評価単位 ウイंकあいち  
宅地評価の入り口(基礎中の基礎)である評価単位について確認

第2講座 宅地の評価(基本的な項目) ウイंकあいち  
宅地評価の基本である路線価方式と倍率方式について確認

第3講座 宅地の評価(応用的な項目) オフィスパーク  
名駅プレミアホール  
宅地評価に係る実務上の個別重要項目について確認

1講座(2日間) 60,000円(税込) / 全3講座 200,000円(税込)

割引 第1講座お試し割引 60,000円(税込) → 20,000円(税込) 申込期限  
4/10まで

● 当セミナーではオンラインLIVE受講およびアーカイブ視聴はできません。また、名古屋会場での開催となります。

Farbe

### 日程・受講料

第1講座: 評価単位 <span>割引あり</span>	【1日目】4月28日(日) 【2日目】4月29日(月祝)	2日間 60,000円(税込)	全3講座 一括 200,000円(税込)
第2講座: 宅地の評価(基本的な項目)	【1日目】7月15日(月祝) 【2日目】7月16日(火)	2日間 60,000円(税込)	
第3講座: 宅地の評価(応用的な項目)	【1日目】10月26日(土) 【2日目】10月27日(日) 【3日目】2025年2月3日(月) 【4日目】2025年2月4日(火)	4日間 120,000円(税込)	

割引 第1講座お試し割引(申込期限4/10まで)  
60,000円(税込) → 20,000円(税込)

定員 40名様

### 会場

ウイंकあいち 9階 901号室  
(愛知県産業労働センター)

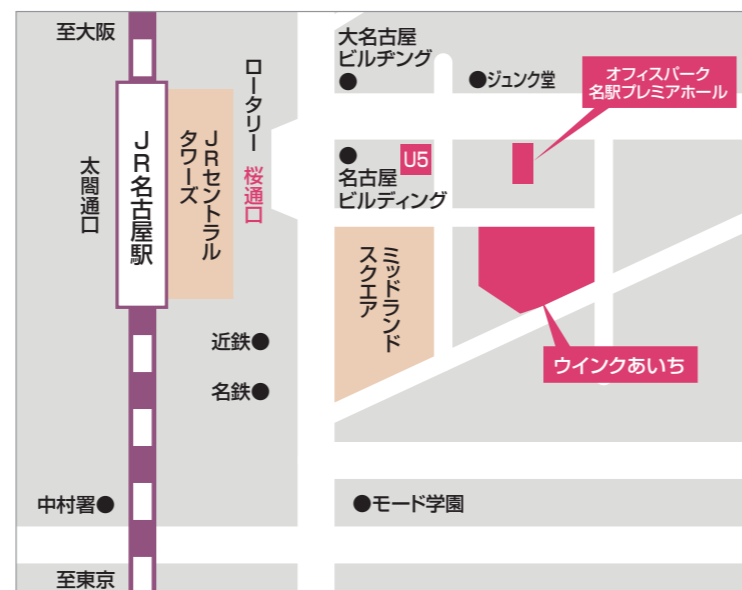
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

・JR名古屋駅 桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分

オフィスパーク  
名駅プレミアホール 4階 403ABC

名古屋市中村区名駅4丁目5番27号 大一名駅ビル

・各線「名古屋」駅徒歩3分 ユニモール(地下街)7番出口目の前  
・セントレア(中部国際空港)から30分



### 笹岡宏保税理士 特別研修会 申込書

FAX送信先 03-5539-3751 HPからのお申込みはこちら <http://farbe-net.com/>

必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。折り返し受付確認票を送付いたします。HPからもお申込みいただけます。

※ 諸事情により、日程変更もしくは中止になる場合がございます。

■受講講座  
 第1講座  第2講座  第3講座  全講座 一括

■氏名 / フリガナ ■事務所名

■ご住所 〒

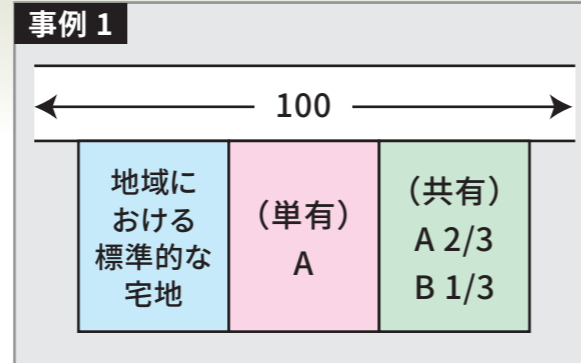
■TEL ■FAX

■E-mailアドレス  
※必ずご記入ください。

宅地評価には実務上の取扱いに悩む事例が数多くあります。  
例えば、次に掲げる事例についてはどのように考えればよいのでしょうか。

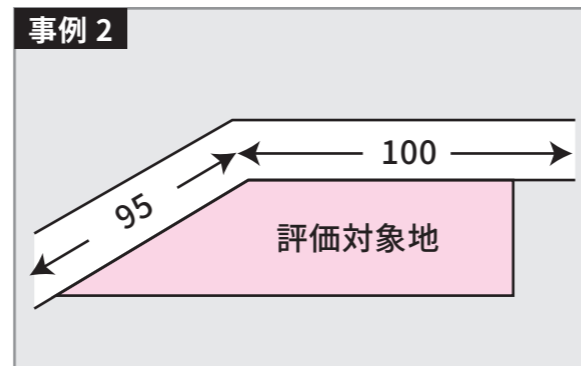
**事例1 評価単位**

相続人A及びBが取得した宅地の状況は次のとおりであった。この宅地の評価単位はどのようにして取り扱うことが相当でしょうか。



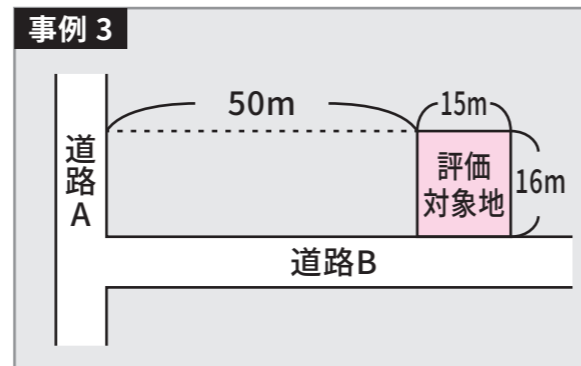
**事例2 角地加算の必要性**

次に掲げる宅地は一方路線として評価して差し支えないでしょうか。それとも、側方路線影響加算を行う必要があるのでしょうか。



**事例3 特定路線価設定の必要性**

次に掲げる宅地は道路Bに特定路線価の設定を申請して評価しなければなりません。道路Aを基に簡便的に評価してもかまわないと考えますが。



- ・道路A及び道路Bは、ともに市道
- ・道路Aには路線価100千円が付設されているが、道路Bには路線価は未付設

今回の講義では、上記事例への対応力を身に付けることを目的として宅地評価の各種論点を確認します。

**第1講座 評価単位** ウインクあいち 9階901号室

宅地評価の入り口(基礎中の基礎)である評価単位について確認

**1日目 4月28日(日)** **2日目 4月29日(月祝)**

全日 10:30~17:00

**1. 土地の評価上の区分**

- (1) 原則的な取扱い(地目別評価)
- (2) 特例的な取扱い
  - ① その1: 一体利用の特例
  - ② その2: 隣接地目の特例

**2. 宅地の評価単位**

**3. 評価単位が争点とされた裁判例(判例)・裁決事例の確認**

ウインクあいち 9階901号室

**第2講座 宅地の評価(基本的な項目)**

宅地評価の基本である路線価方式と倍率方式について確認

**1日目 7月15日(月祝)** **2日目 7月16日(火)**

全日 10:30~17:00

**1. 路線価方式による評価**

- (1) 路線価、地区区分、特定路線価
- (2) 奥行価格補正率
- (3) 一方路線、側方路線、二方路線
- (4) 不整形地
- (5) 地積規模の大きな宅地
- (6) 間口が狭小な宅地・奥行が長大な宅地
- (7) 無道路地
- (8) かげ地等を有する宅地

**2. 倍率方式による評価**

- (1) 評価単位と筆との関係
- (2) 倍率方式による評価上の留意点

オフィスパーク 名駅プレミアホール 4階403ABC

**第3講座 宅地の評価(応用的な項目)**

宅地評価に係る実務上の個別重要項目について確認

**1日目 10月26日(土)** **2日目 10月27日(日)**

**3日目 2025年 2月3日(月)** **4日目 2025年 2月4日(火)**

全日 10:30~17:00

1. 容積率の異なる2以上の地域にわたる宅地
2. 土砂災害特別警戒区域内にある宅地
3. 私道
4. 土地区画整理事業施工中の宅地
5. 造成中の宅地
6. セットバックを必要とする宅地
7. 都市計画道路予定地の区域内にある宅地
8. マンション用地(改正項目を含む)である宅地

9. 公開空地のある宅地
10. 利用価値が著しく低下している宅地
11. 土壌汚染地である宅地
12. 埋蔵文化財包蔵地である宅地
13. 宅地評価に係る重要裁決事例の確認